

日本臨床救急医学会 学校へのBLS教育導入委員会  
活動にご協力いただいている皆様

【日本臨床救急医学会 学校へのBLS教育導入検討委員会】

(平成23年7月28日～)

<担当理事>

たなか ひではる  
田中 秀治 国士舘大学大学院スポーツ医科学科 (ハートセーバージャパン)

<委員長>

いわみ たく  
石見 拓 京都大学環境安全保健機構健康科学センター (NPO 大阪ライフサポート協会)

<委員>

おかもと まさひと  
岡本 征仁 札幌市消防局警防部救急課長 (さっぽろ救急サポーター)

かとう けいいち  
加藤 啓一 日本赤十字社医療センター麻酔科

かんな ともお  
漢那 朝雄 九州大学大学院 医学研究院災害救急医学

こみね つとむ  
小峯 力 流通経済大学スポーツ健康科学部 (日本ライフセービング協会理事長)

たきざわ ひでゆき  
瀧澤 秀行 東京消防庁救急部救急指導課救急普及係 (東京救急協会)

はやしだ すみと  
林田 純人 大阪市消防局警防部救急課 担当係長 (救急)

まつみ ひでゆき  
松見 秀之 松見歯科医院

むらかみ かおり  
村上 香織 大阪府三島救命救急センター看護部

<委員(書記)>

たかはし ひろゆき  
高橋 宏幸 国士舘大学大学院スポーツ医科学科 (ハートセーバージャパン)

<オブザーバー>

さとう えいいち  
佐藤 栄一 厚生労働省医政局指導課 救急・周産期医療等対策室

はせがわ まなぶ  
長谷川 学 総務省消防庁救急企画室 救急専門官

あんどう ふみあき  
安藤 史明 日本赤十字社事業局救護・福祉部健康安全課

のぐち えいいち  
野口 英一 公益財団法人 東京防災救急協会常務理事

【学校へのBLS教育導入についての普及に関する小委員会】

(平成23年7月28日～)

<委員長>

かんな ともお  
漢那 朝雄 九州大学大学院 医学研究院災害救急医学

<委員>

いわみ たく  
石見 拓 京都大学環境安全保健機構健康科学センター (NPO 大阪ライフサポート協会)

おおた くにお  
太田 邦雄 金沢大学附属病院小児科

かとう けいいち  
加藤 啓一 日本赤十字社医療センター麻酔科

かねこ ひろし  
金子 洋 名古屋市消防局中消防署

なち しょう  
名知 祥 岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター

日本臨床救急医学会 学校へのBLS教育導入委員会

まつみ ひでゆき  
松見 秀之 明海大学  
よねざわ たかひろ  
米沢 隆宏 豊中市消防本部救急課  
＜委員(書記)＞  
たかはし ひろゆき  
高橋 宏幸 国士舘大学大学院スポーツ医科学科 (ハートセーバージャパン)

【学校へのBLS教育導入検討委員会】

(平成20年2月14日～平成23年7月28日)

＜委員長・担当理事＞

たなか ひではる  
田中 秀治 国士舘大学大学院スポーツ医科学科 (ハートセーバージャパン)

＜委員＞

いわみ たく  
石見 拓 京都大学環境安全保健機構健康科学センター (大阪ライフサポート)  
おかもと まさひと  
岡本 征仁 札幌市消防局警防部救急課長 (さっぽろ救急サポーター)  
さかもと けいじ  
坂本 恵二 神戸市消防局警防部救急救助課救急指導係 (神戸まちかどステーション)  
たきざわ ひでゆき  
瀧澤 秀行 東京消防庁救急部救急指導課救急普及係 (東京救急協会)  
なかがわ たかし  
中川 隆 愛知医科大学附属病院高度救命救急センター (万博記念NPO)  
にしもと やすひさ  
西本 泰久 大阪医科大学総合診断・治療学講座救急医療部 (大阪ライフサポート代表)  
まつい みちのり  
松井 道宣 京都九条病院外科 (セントジョンアンビュランス代表)  
まつみ ひでゆき  
松見 秀之  
やまぐち ちづこ  
山口 智鶴子 大阪府三島救命救急センター (日本救急看護学会)  
＜オブザーバー＞  
はせがわ まなぶ  
長谷川 学 総務省消防庁救急企画室 救急専門官  
たかはし ひろゆき  
高橋 宏幸 国士舘大学大学院スポーツ医科学科 (ハートセーバージャパン)

【学校へのBLS教育導入についての普及に関する小委員会 (委員7名、書記1名)】

(平成21年7月30日設置承認、平成23年7月28日再編)

＜委員長＞

いわみ たく  
石見 拓 京都大学環境安全保健機構健康科学センター (大阪ライフサポート)

＜委員＞

おおた くにお  
太田 邦雄 金沢大学附属病院小児科  
かねこ ひろし  
金子 洋 名古屋市消防局中消防署  
かんな ともお  
漢那 朝雄 九州大学大学院 医学研究院災害救急医学  
なち しょう  
名知 祥 岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター  
よねざわ たかひろ  
米沢 隆宏 豊中市消防本部救急課  
まつみ ひでゆき  
松見 秀之 社団法人 日本歯科医師会 理事

＜書記・事務＞

たかはし ひろゆき  
高橋 宏幸 国士舘大学大学院スポーツ医科学科 (ハートセーバージャパン)

【学校BLS教育小委員会（委員10名・書記1名）】

（平成21年7月30日設置承認、平成23年7月28日廃止決定）

<委員長・担当理事>

たなか ひではる  
田中 秀治 国士舘大学大学院スポーツ医科学科（ハートセーブージャパン）

<委員>

あ の ちさと  
阿野 千里 帝塚山学院小学校  
こみね つとむ  
小峯 力 流通経済大学スポーツ健康科学部（日本ライフセービング協会理事長）  
さくらい まさる  
櫻井 勝 国士舘大学スポーツ医科学科（東京救急協会）  
しみず なおき  
清水 直樹 君津中央病院救命救急センター救急集中治療科（PALS）  
すぎた かつお  
杉田 克生 千葉大学教育学部養護教育学  
たにぐち みのる  
谷口 実 県立江戸崎総合高校（茨城県教育研究委員会研究委員）  
がもう あきお  
蒲生 昭夫 北九州市消防局警防部救急課  
やすだ やすはる  
安田 康晴 京都橘大学現代ビジネス学部現代マネジメント学科救急救命コース  
やはぎ しげかず  
矢萩 恵一 学校安全教育研究所 事務局長  
（全国学校安全教育研究大会会長・東京都小学校長会会長）

<書記・事務>

たかほし ひろゆき  
高橋 宏幸 国士舘大学大学院スポーツ医科学科（ハートセーブージャパン）

【資料作成の協力者（委員会メンバー以外）】

（平成22年4月23-24日）

あ の ちさと  
阿野 千里 帝塚山学院小学校 教諭  
かめた ゆき  
亀田 由紀 京都大学医学部人間健康学科 3年次学生  
きしもり たけふみ  
岸森 健文 大阪医科大学医学部医学科 第5学年学生  
しばた ことこ  
柴田 琴子 大阪市立大学医学部医学科 第4学年学生  
にしやま ちか  
西山 知佳 京都府立医科大学医学部看護学科 助教  
まつもと たかゆき  
松本 貴行 成城学園  
まとば えみ  
的場 恵美 金光藤蔭高等学校養護教諭  
やまだ ひでお  
山田 秀雄 私立桃山学院中学校高等学校数学科 教諭  
ゆかわ あつよ  
湯川 敦代 私立桃山学院中学校高等学校 養護教諭  
わかすぎ まさよ  
若杉 雅代 東海大学付属仰星高等学 養護教諭校

## 日本臨床救急医学会 学校への BLS 教育導入委員会および普及小委員会 平成 23 年度 活動報告

委員長 石見 拓  
普及小委員会 委員長 漢那 朝雄  
担当理事 田中 秀治

報告期間：平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

委員他活動メンバー：別紙

### 活動の概要

平成 20 年 4 月に設立された本委員会は、学校における心肺蘇生教育の普及を目標として、当学会員以外の医療職、教育関係者や心肺蘇生の普及団体等などとも幅広く連携しながら、実際に児童生徒に対して心肺蘇生の実技を伴う授業を行いつつ、学校における BLS 教育の実践的かつ具体的方策を検討してきた。日本版救急蘇生ガイドライン 2010（以下 G2010）において、学校における心肺蘇生教育の普及の必要性が言及されたことは、本委員会の取り組みが評価されたものともいえる。

平成 23 年度は、G2010 に対応したコンセンサス 2010 の作成と公開、これまでに進めてきた学校での BLS 教育を促すための指導要領、時間割例などの支援ツールの作成と学会 HP 上での公開を進めた。

また、第 14 回総会（札幌）にて、第 3 回目のワークショップを開催し、学会員に対し、広くこれまでの成果を紹介するとともに、『現職の小学校教諭による児童に対する BLS 模擬授業』という斬新な企画展示も行った。ご参加いただいた学会員の皆様には、子供たちに BLS 教育を行うことの意義と同時に、学校への BLS 教育展開の可能性を感じていただけたのではないかと思う。



第 14 回総会における模擬授業風景（講師：阿野氏）

また、児童を対象とした指導プログラムおよび教材は充実したため、次のステップとして、教職員が学校で BLS 教育を実践できるように、教員への指導者養成講習会の内容の検討を進めた。平成 23 年 7 月には、活動内容の進捗に合わせ、普及に関わる活動を主とする形で、委員会の構成を変更した。同時に、教育内容に関わる小委員会はコンセンサスの確立と言う目的を達したため活動を終了した。教育小委員会にご協力いただいた皆様、この期に交代いただいた皆様には、多大なご協力にこの場を借りて感謝した

い。

あわせて、『全ての子供たちが実技を伴う心肺蘇生の教育を受けることができる環境を整えること』を目標に、学校での心肺蘇生教育の導入・普及について、心肺蘇生普及に関わる各種団体に呼び掛け、共同で、文部科学省への政策提言を行った。

#### 平成 23 年度の主な取り組み

1. G2010 に対応したコンセンサス 2010 の作成と学会 HP 上での公開
2. 指導要領、時間割例など学校での BLS 教育を促すための支援ツールの作成と学会 HP 上での公開
3. 第 14 回総会（札幌）にて、ワークショップを開催。学会員に対し、これまでの成果を紹介するとともに、『現職の小学校教諭による児童に対する CPR 模擬授業』を実施。
4. 教員対象の指導者養成講習会の内容の検討
5. 文部科学省への政策提言（資料①参照）
6. 普及・研究調査の継続。アメリカ心臓協会蘇生科学シンポジウムでの活動及び調査結果報告（資料②参照）。

※活動の詳細については、学会ホームページ（[http://jsem.umin.ac.jp/about/school\\_bls.html](http://jsem.umin.ac.jp/about/school_bls.html)）参照

## 委員会等の開催状況

### 第 8 回（23 年度第 1 回）小委員会 平成 23 年 4 月 23、24 日

1. 学校教員などのオブザーバーを加え以下の問題などを集中的な審議をおこなった。
    - ① コンセンサス 2010 の議論と作成  
その後、親委員会、理事会へ 2010 案を提示
    - ② 指導用教材の開発  
教員向けの指導案・指導展開例などの教材を作成
    - ③ 指導を促すための指導要領などの支援ツール（小中高用 各 2～3 案）を作成
- 以上を学会 HP 上で公開した。

### 第 9 回小委員会 平成 23 年 6 月 3 日

1. 平成 22 年度活動報告と平成 23 年度活動計画について議論し、内容を確認した。
  - ① 本年度の重点課題として、成果物の学会ホームページ等を通じた公開、指導者養成講習会の検討とモデル開催を上げた。
2. 資料作成の進捗を確認するとともに公開方法について検討を行った。
3. 6 月 4 日（土）の特別企画ワークショップについての打ち合わせを行った。

### 総会におけるワークショップの開催

第 14 回日本臨床救急医学会総会（札幌：6 月 4 日）にて、第 3 回目のワークショップを開催し、コンセンサスの提示、ならびに学校への BLS 教育導入についての普及啓発・臨床効果の検討について報告ならびに議論を行った。

浅井学会長にお願いし、ワークショップ後に小・中学生を対象とした 45 分程度の模擬授業を実施。当委員会の考える学校教諭による児童に対する BLS 教育を具体的に提示し、意見交換を行った。

### 第 10 回小委員会（指導者研修会視察 1 回目） 平成 23 年 8 月 1 日

1. 視察をした指導者研修会（東京・多摩）についての意見交換を行った
2. 資料作成の進捗状況の確認と公開方法について検討した
3. 指導者対象研修会の確立とモデル開催の予定を検討した。
4. 日本臨床救急医学会誌に活動報告を投稿すること、指導に役立つ教本作成の検討を開始した。

### 第 11 回小委員会（指導者研修会視察 2 回目） 平成 23 年 9 月 30 日

1. 視察をした指導者研修会（大阪）についての意見交換を行った
  - ① 教員が生徒・児童に指導する場合、1 時間程度で BLS 教育の概要を伝え、教員自身の CPR 技術の確認ができれば十分指導できるとのコンセンサスを得た
  - ② 視察を踏まえ、指導者養成講習会用資料作成を進めることとした
2. 資料作成の進捗状況、ホームページへの資料の公開予定を確認した
3. 救急蘇生法の指針、救急医療財団 AED のあり方検討委員会、各地での活動状況など、関連する情報の収集と交換を行った。
4. 学会誌での報告、教材作成・出版に関する検討を進めた

### 第 12 回小委員会 平成 23 年 10 月 12 日

1. これまでの委員会活動概要の説明、委員会、小委員会が 7 月から新体制に移行している経緯の説明を行った。
2. 同様の活動をしている団体についての情報交換を行った。
3. 救急看護学会内で行う模擬授業、ワークショップの準備
4. 指導者養成講習会用資料の作成を進めた。
5. 下記、資料の内容を確認し、学会ホームページにアップすることとした。
  - ① 学会活動概要、視察報告等をまとめたスライド
  - ② 指導案、時間割例等、役立つ資料
6. 今後の普及の方策、次年度活動について意見交換を行った。
  - ① 国へのアプローチ：親委員会で検討することとした
  - ② モデル地域で教員対象の模擬授業＋指導者研修会を行う方針を確認した。
  - ③ 教員への情報提供を強化すべき
  - ④ 学会誌での報告、教材作成について、引き続き検討

### 第 13 回 日本救急看護学会総会におけるワークショップの開催

日本救急看護学会総会（神戸：10 月 12 日）にてワークショップを開催し、コンセンサスならびに学校への BLS 教育導入についての活動報告を行った。

山口前委員のご協力のもと、ワークショップ後に小学生を対象とした模擬授業を実施。当委員会の考える学校教諭による児童に対する BLS 教育を具体的に提示し、意見交換を行った。

### 平成 23 年度 第 1 回委員会 平成 23 年 1 月 27 日

1. 石見委員長、田中担当理事より、これまでの委員会活動概要の説明、委員会、小委員会が 7 月から新体制に移行している経緯の説明を行った。

2. 平成 23 年度の活動概要を報告し、了承を得た
3. 全国の消防機関、日本赤十字社、日本ライフセービング協会等の活動について、情報交換を行った。
4. 平成 24 年度の普及小委員会の活動計画について、漢那委員長より提案があり、了承された。
5. 学校での BLS 教育導入に向けた文部科学省への政策提言について意見交換を行い、関係団体と共同提案を行うこととした。
6. 第 15 回 日本臨床救急医学会総会にてワークショップを開催する方針を確認した。

**第 36 回全国学校安全教育研究大会の視察 平成 24 年 2 月 10 日**

矢萩前委員のご協力のもと、全国の安全担当 小学校教諭の情報交換の場である上記研究大会を視察。学校教員への情報提供方法について検討した。

次回 37 回大会にて、模擬授業等、情報提供ができないか、相談を開始することとした。

報告者 石見 拓、漢那 朝雄、田中 秀治

## 日本臨床救急医学会 学校への BLS 教育導入委員会および普及小委員会 平成 24 年度 活動計画

活動 5 年目を迎える平成 24 年度は、これまでの成果を踏まえ、学校での BLS 教育を全国で普及するための具体的な行動を開始する次のステージに移ったと考えている。

前年度までに検討を重ねてきた指導者養成講習会の模擬展示を行い、本学会員をはじめ、心肺蘇生の普及活動を進めている方々、学校教員の方々の意見を広く集約し、学校教員を対象とした指導者養成講習会の内容を確立していく。また、前年度に行った文部科学省への提言内容を具体化するための方法について、同省とも相談しながら検討を進める。

前年度に引き続き、研究成果の検討を進め、学会誌への掲載など情報発信を積極的に行う。また、当委員会の活動は、学会員の域を超え、消防機関、教育機関など多岐にわたる皆様の協力のもとに成り立っている。こうした皆様の協力のもと得られた成果を社会に還元するために、ホームページへの活動報告、資料掲載に加えて、報告書として成果をとりまとめることも計画している。

### 平成 24 年度の主な活動計画

1. 教員対象の指導者養成講習会の確立にむけた取り組みの推進
  - ① 内容の吟味
  - ② 必要な資料の整理
  - ③ 各地での視察と意見交換
2. 第 15 回総会（熊本）にて、ワークショップを開催。学会員に対し、これまでの成果を紹介するとともに、『児童に対する BLS 模擬授業』に加えて、『教員対象の模擬指導者養成講習会』を展示。意見収集を行う。
3. 心肺蘇生普及に関わる学会、教育関係者の集まる場での指導者養成講習会の模擬展示と意見交換
  - ① 日本救急看護学会(2012 11/2-3 東京)
  - ② 全国救急隊員シンポジウム (2013 1/24-25 岡山)
  - ③ 第 37 回全国学校安全教育研究大会  
等を念頭に準備を進める
4. 文部科学省への政策提言を具体化するための方策についての検討
5. 普及・研究調査の継続と学会誌等での報告
6. これまでの活動成果の取りまとめ。報告集の作成。

報告者 石見 拓、漢那 朝雄、田中 秀治